

2024年  
109



# 風だより

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

友朋会理念 『患者さんのために』



## contents

(クリエイティブセンターみらい)

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 目次                     | 9 朋寿苑だより                |
| 2～5 クリエイティブセンターみらい       | 10 地域連携室通信、新人医師紹介       |
| 6～7 能登半島地震におけるDPAT活動を終えて | 11 創立59周年記念式典、合同慰霊祭     |
| 7 野球肘健診を開催               | 12 理念・診療科の紹介及び診療担当医師一覧表 |
| 8 女性活躍推進における日本の現状と課題     |                         |



# クリエイティブセンターみらい開設

「クリエイティブセンターみらい」は利用者の皆さんが「未来」を創造する居場所、創造的な活動によって「未来」に繋がっていく空間になりますことを願って命名させていただきました。

当会開設時の理念は、患者さんのために社会復帰が可能な病院、芸術療法ができる病院でした。開設者の想いも繋いでいくことができる施設にして参りたいと思います。

理事長 中川 龍治

令和6年4月8日より新たにクリエイティブセンターみらいを開設いたしました。1階には、絵画療法室、音楽療法室、作業療法室(自由工房・調理コーナー)、地域生活支援科、復職支援プログラムリワークステーション「リーフ」、青年期社会スキルプログラム「スマイルコミュニケーション」が移転し入り、2階はリハビリセンターほほ笑みが移転し、デイケアと名称を変更しました。





## 絵画療法室

- 曜日 月曜日～金曜日
- 時間 9時30分～11時30分

穏やかな雰囲気の中、ひとりひとりに合わせて気に入ったものを探し、描いていけるよう療法士がお手伝いします。



## 音楽療法室

- 曜日 火曜日
- 時間 9時30分～11時30分

楽器演奏・歌唱活動・音楽鑑賞など多彩な手段を通して安心して表現できる場所を提供します。



## 自由工房・調理コーナー

- 曜日 月曜日～金曜日
- 時間 9時30分～11時30分

**料理は不定期開催**

自由工房では、様々な素材を使ってクラフトを行います。作りたいものを選んで頂き、療法士がそのお手伝いをします。

一角には、調理コーナーもあり、より家庭的な雰囲気の中で、対象者に応じて目的に合わせた料理教室を開催しています。





## 地域生活支援科

退院支援・地域生活支援・就労支援の3つの支援を行っています。

- ・退院支援では、専門スタッフが入院中から退院後の生活までのトータル的なサポートを行います。
- ・地域生活支援は、訪問看護・相談支援・同行サービスなどを行い安心して地域での生活が送れるようにサポートします。
- ・就労支援は、就労支援センターの利用や一般就労を希望される方への相談及び行政等との調整を行います。



## リワーク室

### 【リーフ】 (リワーク)

- 曜日 月曜日・水曜日・金曜日
- 時間 9時00分～12時00分

うつやストレス関連疾患が原因で休職および失職された方を対象に、復職に向けての生活リズムや体力の回復、集中力の回復を目指します。



### 【スマイルコミュニケーション】 (青年期社会スキルプログラム)

- 曜日 火曜日
- 時間 9時00分～12時00分

自閉症スペクトラム障害の診断を受けている方が、コミュニケーションを学び、自己理解を深めるためのプログラムです。社会生活をおくるうえで役立つような、より自分自身に合った技術を身につけることを目指します。



## 2階

# デイケア・デイナイトケア・ショートケア



## デイケア

- 曜日 月曜日～金曜日  
(祝日も開所しています)
- 時間 9時00分～15時30分
- プログラム  
絵画・陶芸・音楽・華道・書道・  
スポーツ・料理教室・疾患共育・  
バスレクなど

## デイナイトケア

- 曜日 月曜日～金曜日  
祝日は行っていません
- 時間 9時00分～19時00分
- プログラム  
絵画・陶芸・音楽・華道・書道・  
スポーツ・料理教室・疾患共育・  
バスレクなど



## 就労支援ショートケア

- 曜日 月曜日～金曜日  
祝日は行っていません
- 時間 12時00分～15時30分
- プログラム  
絵画・陶芸・音楽・華道・書道・  
スポーツ・料理教室・疾患共育・  
就労相談など





# 能登半島地震におけるDPAT活動を終えて

災害支援活動を行う災害派遣精神医療チーム(DPAT)には、災害発生後すぐに活動するDPAT先遣隊があります。令和5年12月に富松副院長、前田師長と3名でDPAT先遣隊研修を受講しました。

研修修了後、先遣隊として活動するための機材、装備品なども揃っていない状態であったため必要な物をこれから揃えていこうと思っていた翌年1月1日16時10分に能登半島地震が発生しました。その50分後に厚生労働省管轄のDPAT事務局より待機指示のメールが届きました。これを受け夕方、富松副院長より友朋会DPAT隊員のLINEグループにて、翌日9時に病院に来られる隊員は集まるようにと送信され、集まった隊員にて現地の被害状況、派遣時の交通手段等の情報収集を行い、派遣に備えることとなりました。

そして、佐賀県より正式に派遣要請があり1月25日～29日までの5日間、現地で活動することとなりました。

現地へは飛行機で向かう予定でしたが、北陸地方周辺が悪天候だったため、出発当日まで移動手段を何度も変更し、最終的に福岡空港から羽田空港へ移動、東京駅から金沢駅までは新幹線での移動で、朝方に福岡を出発して金沢に到着したのは夕方になりました。

活動初日は、七尾市保健福祉センター内にあるDPAT活動拠点本部で活動することとなり、ここで初めて地震の影響(地割れや、建物の基礎と地面に隙間ができていて、電気は供給されているが水が出ない)を実感することとなりました。この活動拠点本部は、能登北部医療圏の輪島市、珠洲市、能登町、穴水町の2市2町を管轄しており、それぞれの市町にあるDPAT指揮所を経由して、活動しているDPAT隊への指示や情報を集約する場所なのですが、研修では習っていないことばかりの活動となりました。(EMISのクロノロ? Googleドライブ?) 翌日も活動拠点本部で活動予定でしたが、能登半島の一番北にある珠洲市(珠洲指揮所)での活動へ変更になり、珠洲市で4日間活動することになりました。

珠洲指揮所には災害派遣医療チーム(DMAT)、日赤など11団体が30畳ほどの広さの中に事務所を構えており、1日の活動は7時30分からの指揮所内の掃除、8時に各団体と情報共有のための合同ミーティングから開始となりました。活動期間中はDMAT、保健師等の他団体よりDPATへの相談や診察依頼が複数あり、社協職員より希死念慮を持たれている方の診察、金沢市内の病院を受診されている患者さんの残薬が少なくなり不安になられているケースの対応、避難所生活をされているアルコール依存傾向があるご年配者の診察、避難所入所のための認知機能評価が必要な方のDMATとの同時診察などがありました。この他にも電話による相談、後続隊に引き継ぎを行ったケースもあり、共同通信社からの取材もありました。

珠洲指揮所に参集している各団体との連携がスムーズに進むことで被災地支援への一体感や使命感を感じることが出来ました。しかし、慣れない環境下での生活、宿泊先では3日間の晩御飯が同じ非常食、風呂に入れず、トイレは簡易トイレ、広間に寝袋での就寝など数日間でしたが心身共に





疲れ果ててしまう体験をしたことで、被災者の方がどれだけ大変なのかが本当に身に染みてよくわかりました。活動終了の日、珠洲市内を見回りながら金沢市内まで戻りましたが、テレビで見ていた光景を目の当たりにすると、普通の生活が送れている日常に感謝しないといけないと改めて感じました。

今回の活動では、準備段階から活動終了までいろいろな事が二転三転し、試練を与えられ試されているかのようにでしたが、富松副院長、前田師長と支えあいながら乗り切ることが出来たと思います。そして、理事長をはじめ、本部事務所、看護部、栄養管理科、薬剤科、DPATメンバーなどたくさんの方々のご支援、ご協力により無事に活動を終えることができたと思います。本当にありがとうございました。

本部事務所 佐藤 慶祐

## 野球肘健診を開催しました。

当院では毎月第一土曜日スポーツ整形外来として診療を行っています。医師はNPOスポーツメディカルサポート理事長で当院非常勤医師の角田憲治先生です。近隣の学生を主としたスポーツ選手の障害の診断とその治療を行い、リハビリテーションを実施する事で安全に楽しくスポーツが出来るよう支援させていただいております。特に、成長期の子供は骨の発達が未成熟で、その時期に過度なトレーニングや痛みに対する誤った知識をもっていると、将来的に高校や大学等でスポーツをする時に大きな怪我に繋がったり、深刻な怪我になるリスクもあり、子供が安全にスポーツを続ける為にも指導者や保護者、そして競技する子供も正しい知識とスポーツ障害の予防について学び、障害の早期発見が重要となります。そこでスポーツ整形外来では今年度より近隣小学校を中心に当院のリハビリテーション室を借りて野球肘健診を開催する事となりました。当院での開催は初めてでしたが地域の指導者の方々のご理解とご協力により無事開催する事が出来ました。今回は轟小学校の子供9名とその保護者様、監督の方々参加のもと、野球をするにあたっての障害予防の講義と子供たちの現在の身体に痛みや不調がないかを調べる健診を実施しました。健診では、“それ聞いたことある！”“俺できるよ〜”等、終始和気あいあいとした雰囲気の子供たちと関わりました。地域の子供たちが元気に暮らせるよう、そして地域の為に役立てるようスタッフ一同精進して参りたいと思います。



リハビリテーション科 山下 慎一



# 院内研修

## 「女性活躍推進における日本の現状と課題」

当会では、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、令和4年度から取り組んでいます。令和5年度も講師に佐賀県立男女共同参画センター アバンセ館長 田口香津子先生をお招きし院内研修会を実施しました。

「女性活躍推進(法)における日本の現状と課題」という講義内容の中で、なぜ女性活躍が必要かを学び、当会が目指す「職員が安心して働き続けることが出来る職場環境づくり」を各個人が考える機会としました。

講義では、

ジェンダーギャップ指数(GGI)2023年で日本は146カ国中125位。教育と健康は世界トップクラスだが政治と経済参画の値が低い。また、就業を希望しながらも働いていない女性は約171万人を上る。出産・育児後に再就職した場合、パートタイム労働者が多く女性雇用者における非正規雇用労働者の割合は5割と低い。管理職に占める女性の割合は国際的に見ると水準が低い等、日本の現状と課題が分かりました。このような状況を踏まえ、女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現する為、「女性活躍推進」が施行されたことを知り、男女共同参画白書で私達が取り組むべき方向性を確認することが出来ました。

聴講後の意見の中には、

「昨今の男女共同参画社会における状況を改めて確認出来る内容であり、日本の現状がまだまだだと認識した」「経済成長に男女格差是正が関係しているとは驚いた」「昭和モデル・令和モデルという言葉が出てきて、自分の考え方が古いかもしれないという気付きになった」「自分自身も皆が働きやすい職場づくりに貢献していきたいと今日改めて思う事が出来ました」

などがありました。

今後も当会における目標を具体的に実践できるよう、更にこの活動を深化させていきたいと思えます。

栄養管理科 南 賀子

<令和5年版 男女共同参画白書から抜粋>

### 特-79図 「令和モデル」の実現に向けて

#### 「昭和モデル」

- ・いわゆるサラリーマンの夫と専業主婦から成る世帯を前提とした制度
- ・固定的な性別役割分担を前提とした長時間労働や転勤を当然とする雇用慣行



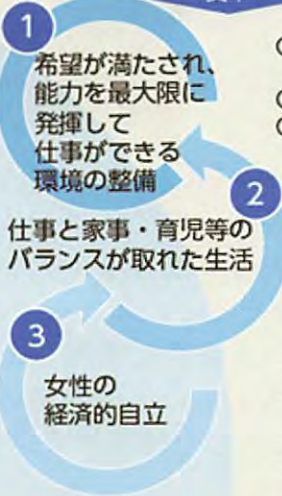
#### 新しい生活様式・働き方

- ・若い世代を中心に、生活様式、働き方についての考え方が変化、多様化
- ・家族の姿の変化、人生の多様化  
単独世帯、ひとり親世帯、共働き世帯の増加

変革

## 「令和モデル」

職業観・家庭観が大きく変化中、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会の実現へ



- 柔軟な働き方の浸透、勤務時間にかかわらず仕事の成果を評価され、昇進を目指すことができる環境の整備
- 指導的役割に占める女性を増やすための取組の加速
- 再就職の際、またはキャリアアップを目指す際に能力やスキルを向上できるよう、リスキリング等の機会の提供

- 長時間労働の是正
- 男性の育児休業取得の促進  
職場での業務の見直し、効率的な業務配分

- 男女間賃金格差の是正
- 成長分野への円滑な労働移行  
能力向上支援、デジタル人材の育成等
- 女性の就労の壁となっている制度・慣行の見直し
- 養育費を支払うのは当然であるという意識の定着



介護老人保健施設

# 朋寿苑

TEL0954-42-2900・FAX0954-42-2907



医療法人財団 友朋会の介護老人保健施設 朋寿苑では、家庭的な雰囲気と利用者さまの個性尊重を第一に、きめ細かなケアプランにそった介護と多彩な生活機能訓練によって、家庭復帰を目指しています。朋寿苑は、毎月様々な行事を開催しており、ここでは令和5年11月から令和6年4月までに開催しました行事の一部をご紹介します。

## 入所部門



11月8日そば打ち体験会が行われ、普段の活動には消極的な入所者様も、興味津々なご様子で生地をこねたり、伸ばしたりの作業を楽しまれていました。参加者全員が笑顔で活動を楽しまれ、盛り上がるのあるリフレッシュ会となりました。



12月20日、クリスマス会を行いました。ジングルベルの歌に合わせて、皆様と職員と一緒に踊ったり、歌ったりと楽しみ、おやつタイムにはショートケーキを食べました。職員サンタからプレゼントも配られ、「こんなに賑わったのは初めて!」と言って下さり、大変喜ばれていました。

## 通所部門



2月8日福笑い会を行いました。「ひょっこ」と「おたふく」の福笑い、節分にまつわる紙芝居、新聞紙を投げたの鬼退治などをおこないました。福笑いには利用者さまも目隠しをして挑戦され、皆さんの「上上、もっと右」などの掛け声を頼りに取り組まれていました。



4月2日桜見物に行きました。庭木ダム～鷹ノ巣公園～轟小学校～嬉野町内を巡りました。「子供を連れてここに花見に来たことがある。懐かしい～」と昔を思い出されている方もいました。今年はタイミングよく満開の時期に行くことができ利用者の皆さんが大変喜んでおられました。



# 地域連携空通信

暖かく過ごしやすい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。  
今回は傷病手当金について紹介をさせていただきます。

## ●傷病手当金とは

会社員や公務員などで健康保険に加入する被保険者が病気やケガで働けなくなり、事業主から十分な報酬を受け取れないときに支給される手当です。

支給額は、直近1年間の標準報酬月額 $\times$ 2/3に相当する額が一般的です。

※健康保険の加入期間によっては支給額が変わってくる場合があります。

## ●支給の条件

- ①業務外でのケガや病気の療養のための休業であること
- ②仕事に就くことができないこと
- ③連続する3日間を含む4日以上仕事に就くことができなかったこと
- ④休業した期間について給与の支払いがないこと

## ●支給される期間

傷病手当金の支給される期間は支給開始日から「通算1年6ヶ月」となっております。

## ●申請窓口

各健康保険組合、協会けんぽ ※申請には会社や医療機関からの証明書が必要になります。

作成者:精神保健福祉士 吉村 佳祐

## NEW FACE 😊 新Dr.の紹介

まつなが かずお

### 松永 和雄 先生

1986年大分大学卒、長年長崎大学に所属していました。今年の3月末で伊万里有田共立病院を退職し、友朋会 嬉野温泉病院に入社しました。所属学会は日本内科学会、日本循環器病学会、日本糖尿病学会で、総合内科専門医と循環器専門医を取得しています。嬉野には、35年前に国立嬉野病院(現 医療センター)に勤務で久しぶりです。少しでも皆様のお役に立てるよう頑張ります。宜しくお願いします。

しば しょうた

### 斯波 翔太 先生

本年度より再度当院に赴任しました斯波と申します。  
皆様のお役に立てるよう、日々精進してまいります。  
どうぞよろしくお願いいたします。

いとう たかのぶ

### 伊藤 隆伸 先生

伊藤隆伸と申します。本年度から嬉野温泉病院で精神科医として働かせていただきます。出身は長崎県南島原市で、長崎大学卒業で、医師12年目です。趣味は卓球ですが、子育てが趣味になってきています。前任は総合病院の精神科医として、認知症、せん妄、統合失調症圏、気分障害圏、不安障害圏、大人の発達障害などを診察していました。ご迷惑をかけることがあると思いますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。



# 創立59周年記念式典

令和6年4月6日(土)、創立59周年を記念致しまして式典を行いました。長年勤務された職員の皆さんに対して永年勤続表彰が行われました。また、新任医師や新入職員、中途採用の職員の紹介もあり、今後友朋会で努めていく抱負を緊張しながら話されました。会場には、30年勤続、20年勤続、10年勤続の職員、新入職員、中途採用職員、新任医師に加えて幹部職員が参加し、その他の職員はリモートで参加としました。式典終了後は、永年勤続者と新入職員は集合写真を撮影し、和やかな雰囲気となりました。永年勤続者の皆さん、おめでとうございます。



## 合同慰霊祭

令和6年3月2日(土)、合同慰霊祭を開催致しました。令和5年1月1日から12月31日までにお亡くなりになられた161名の名を読み上げ、参加者全員で黙とうを捧げ、献花を行い、物故者のご冥福をお祈り致しました。





## 友朋会理念 『患者さんのために』

### 基本方針

- 1 患者さん一人ひとりの立場になって、提供すべき医療を考え、実践する
- 2 在宅での生活を目指した医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 創設時から継続されている退院支援・生活支援・就労支援の更なる充実のために地域包括ケアシステム・地域医療構想の視点を加える
- 4 芸術療法的な治療空間・アメニティーを重視し、芸術療法を治療技法として高める
- 5 医療安全対策・感染予防対策・精神科医療事故防止・防災対策・防火対策など総合安全対策体制を確立する
- 6 地域医療機関との連携や役割分担による医療を実践する
- 7 地域において認知症疾患医療センターを軸にリーダーシップを発揮する
- 8 児童思春期精神医療を実践し、地域の子どもの健やかな成長に寄与する
- 9 安全で質の高いチーム医療を実践し、地域の医療・福祉の向上に貢献する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

### 職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さんの自己決定権を尊重する
- 2 患者さんが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さんがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さんに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さんに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さんに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さんの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さんの尊厳を保つ
- 9 患者さんの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さんの個人情報を守る

## 外来診療担当医

#### 【診療時間】

午前8時30分から午後5時まで  
(第1土曜は午後12時30分まで)  
外来診療は予約制になっております。  
事前に連絡をお願いいたします。

#### 【休診日】

日曜日、第2・3・4・5土曜  
年末年始(12月30日～1月3日)

#### 【診察時間】

当院では待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。

急患の場合は随時受け付けます。  
新患：原則、月曜日～金曜日までの午前中(予約制)

再来：主治医と個別に日程調整します(完全予約制)

可能な範囲で時間調整は致しますので、まずはご相談下さい。

診療科	月	火	水	木	金	土 (FRI/SATURDAY)	備考
精神科	富松 吉永 河津	奥 田中 藤井	吉本 中山 神崎 斯波	中山 伊藤	三根 菅高	要予約 (第1のみ)	
内科	松永	竹下 河部	岡本	林原 河部		非常勤 医師	
泌尿器科	倉富	江原	倉富	倉富	倉富	予約者のみ	午後は 事前連絡
眼科	崎戸		崎戸		崎戸		(月) 午後13:00~17:00 (水・金) 午前10:00~12:30 午後13:30~17:00
整形外科	非常勤医師 (月曜日のみ)						

2024.6.1

### 医療法人財団 友朋会

〒843-0301  
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919  
電話：0954-43-0157  
FAX：0954-43-3440  
E-mail：info@yuhokai.com  
URL：http://www.yuhokai.com/



- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症疾患医療センター 0954-43-0003
- 精神科デイケア 0954-43-0194
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 朋寿苑 通所リハビリ 0954-43-0233
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151  
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目15-28